



2006年10月8日(日)関東を代表する山の行楽地、高尾山に出かけました。高尾山口から山頂を往復するというのは、誰もが経験済みでしょう。そこで、高尾駅から小仏までバスに乗り、景信山に登り、小仏峠、城山を経て高尾山に登ることにしました。

天候に恵まれた10月の3連休の中日、景信山の山頂は賑やかです。そして、何と言っても眺望の素晴らしさに驚かされました。澄み切った空気のおかげで関東平野が一望できたのです。江ノ島、横浜ランドマークタワー、新宿副都心、サンシャイン、さらに房総半島まで。期待していた富士山は当然見えたのですが、滅多にお目にかかれない眼下の広がりには負けていました。城山、高尾山からの眺めも素晴らしいのですが、景信山から高度を下げただけという感じにしか見えないのが残念かな。

高尾山の人出には圧倒されました。もはや山じゃない、地上の観光地？夕方なのにこれから山頂へ向かう人々とすれ違うなんて！そして、あるものは利用するという最近の傾向でエコーリフトで下山しようと目論んでいたのですが、リフト乗り場には長蛇の列が。歩いて下ることにしました。

ちょっと楽しみにしていたエコーリフトには乗れませんでした。子どもの頃の遠足気分を味わえた1日となりました。



5年ぶりの再会

朝8時30分、JR八王子駅横浜線ホームで電車から降りてくる人並みを眺めていたら、なんと久しぶりの顔を発見しました。鈴木宏さんです。そして横には奥さんのしずかさんも。「久しぶり！」鈴木夫妻は、小野勝彦さん、桜井利子さんと同じく、11年前“WTR CLUB”発足当時のメンバーです。“WTR CLUB”の発足のきっかけとなったティップネス町田店からのつきあいを入ると14年くらいになるのかな？ところが、残念ながら老舗の小野さんと桜井さんは、この日不参加でした。この日の参加者は、鈴木夫妻、加藤忠さん、加藤純代さん、板垣実さん、横山和明さん、大貫洋さん、佐藤忠夫さん、町田行弘の9名となりました。さて、鈴木夫妻の最後の参加は、2004年4月の「丸山ハイキング」でしたが、今回の参加者はその時誰もいませんでした。その前は、鈴木しずかさんが2003年6月「むかし道」に参加していますが、ここも、今回の参加者とはすれ違い。さらにさかのぼると、2001年8月「箱根旧街道」に2人で参加していました。この時は、加藤夫妻、板垣さん、横山さんも参加していますから、5年ぶりということですね。



加藤さんのシューズが...

中央線に乗り高尾駅で下車し、北口バスターミナルから「小仏」行のバスに乗り、終点の小仏バス停で降ります。鈴木夫妻と大貫さん、佐藤さんは面識がないので、みんなで簡単に自己紹介をしてスタートしました。バス停からさらに奥へ向かって舗装路を上って行きます。右上を中央自動車道が走っていますが、やがて、トンネルに入り見えなくなった頃、右側に景信山登山口が現れました。時刻は10時、ここから山道が始まりました。上り始



めは体温が上昇して汗が噴き出すのですが、湿気の少ない空気のためか、いつもの不快感がありません。「気持ちいいねえ」そんな時、歩き始めて5分足らず、加藤忠さんのシューズにトラブルが。古いシューズを久しぶりに履いたため、アウトソールが剥がれ始めたのです。2004年3月「鐘撞堂山ハイキング」の時、



小野さんのシューズが壊れましたが、それと同じ現象です。手ぬぐいでうまく縛り上げてなんとかかなりそうということ。エアロビクスのインストラクターの鈴木しずかさんは、テーピングテープを持参しているので、手ぬぐいが役に立たなくなりそうな時はそれを利用するというので、歩き続けることに。

景信山を下で通過？

今年は夏が短かったので、紅葉の気配を期待していたのですが、日ざしは強く緑が生き生きと輝き、まるで初夏の新緑かと思うほど。危険を感じるような場所もなく適度な傾斜で、体がよくぶよぶよようなペースで上昇していきます。やがて、視界に青



い空が入ってきて、山頂が近づくのを感じます。空の色は、濃い水色（空色）で、やっぱり秋。済んだ空気は風となって、体から出ようとする汗をその瞬間にどこかへ運んでしまいます。そんな気分で歩いているうち、山頂へ向かう急な斜面を知らず知らず避けて、巻き道を歩いていた。頭上でかすかに人の声が聞こえているような...？そして、し





しばらくすると、景信山から下りてくる道にぶつかりました。右方向へ戻るように“景信山 0.2km”となっています。今回のハイキングは、別に高尾山に行きたいのではなく、景信山に登ろうというもの。疲れているとそんなことはどうでもよくて先を急いでしまいますのですが、幸いみんな元気でした。景信山を目指して登ります。

関東一望！

5分後、山頂到着。思わず声が出ます！「スゴイ！」魔が差さなくて良かった！自然のテラスに並ぶイスとテーブル、そこにくつろぐ適度な混み具合のハイカー、青い空と澄んだ空気。右端に富士山、正面から左の下に広がる関東平野。方向を確認しながら眼を凝らしていくといろいろなものが見えてきます。江ノ島、三浦半島、横浜ランドマークタワー、房総半島、新宿副都心、池袋サンシャイン60、筑波山。727メートルとそれほど高いわけでもなく、しかも、町田・相模原から近い場所にこんな素晴らしいスポットがあったなんて！

実は、この景信山は1998年11月「関東シルクロード」で通ったことがあるのです。加藤夫妻と町田はここを走り抜けています。でも、その日は、今にも雨が降り出しそうな天気、ハイカーはいなく、茶店も閉店していて、景色もなく、同じ場所とはとても思えません。

時刻は11時20分とちょっと早いのですが、しばらく何度見ても飽きない、滅多に目にかけられないこの景色を堪能するた



め、昼食としました。のんびりと食事をしてくつろいで、12時30分、下山して城山へ向かいます。加藤さんの壊れかけたシューズは、加藤さんが持ち歩いている簡易アイゼンと鈴木さんのテーピングでしっかり補強し、さらに手ぬぐいで縛り心配なさそうです。

旧甲州街道

小仏バス停からの道では、ハイカーとすれ違うこともなかったのですが、景信山からは、すれ違うハイカーが多くて、「こんにちは」と挨拶するのにウンザリしていまいそう。約20分で小仏峠に到着しました。ここは、旧甲州街道の難所として有名でした。今の甲州街道は、車が大垂水峠を越えて走っていますが、人の足の時代は、高尾駅からバスで通った道、景信山登山口を曲がらずに直進し、小仏峠と越えて、相模湖手前の小原宿に続いていたのです。

一休みして、茶店の中を通り、城山・高尾山方面に向かいます。間もなく小仏峠富士見茶屋、木々の間から富士山が望めますが、景信山の展望のあとでは感激もなく…。そして、城山山頂への道と巻道の分岐にやってきました。「どうしますか？」「こんなに展望が素晴らしい日なんだから行きましょうよ」横山さんのひとことで決定！巨大な電波塔がある、坊主山のような城山山頂も賑やかでした。もちろん展望も良いのですが、残念ながら、景信山からの展望を高度を下げた場所から眺めるとい感じがしてしまいます。





賑やかすぎる高尾山

13時45分、城山をあとにしました。高尾山へ向かう道は、緩やかに下る広い尾根道となっていて、両側は桜並木となっています。しばらく行くと、道が二手に分かれていました。右の高台(?)を進む道と左の平坦に見える道と。板垣さんが左を選び、横山さんが右を選びましたが、その他大勢は左へ。平坦に見えた道も高尾山に近づくにつれ次第に上りになっていき、モミジ台で横山さんと合流します。さあ、最後の急な階段を上りきれば高尾山の見晴台です。



14時35分、高尾山に到着しましたが、人の多さに驚きます。小野さんが行方不明になった鎌倉の人混みに匹敵するというかそれ以上？富士山をバックに記念撮影をと思っていたのですが、そんなのは無理！とりあえず撮れる場所で集合写真を撮る。ここからは、のんびりケーブルカーかリフトで下山するつもりだったのですが乗車待ちで歩いた方がよさそうです。6号路(森と水コース)で下ろうと思ったのですが、壊れたシューズ



の加藤さんにとって水は大敵！もっともポピュラーな表参道コースの1号路に行くことにしました。

まるで初詣かという勢いの人の往来の薬王院を通り、“65歳以上の方はケーブルカーを”という注意を無視してリフト乗り場へ向かいます。しかし、リフト乗り場は長蛇の列で、いったいどれくらい待つのかすら想像できないほどの混みようでした。いつもなら、桜井さんだけが「歩きましょう」と言うところなのですが、さすがに、「待ちましょう」と言う人はいなく、アスファルトの急な下りを歩き出しました。リフト乗り場から30分、地上のケーブルカーの駅に到着しました。そして、京王線の高尾山口駅から電車に乗りましたが、がらがらです。いったいあの人混みは...？それにしても、人気のある山は、やはりそれなりに素晴らしいものですね。





町田行弘	229-1103	神奈川県相模原市橋本 5-29-12 メゾン・アン・ソレイユ 201 042-773-7415
鈴木宏	228-0812	神奈川県相模原市相南 2-6-17 042-701-1653
鈴木しずか	228-0812	神奈川県相模原市相南 2-6-17 042-701-1653
加藤忠	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
加藤純代	194-0033	東京都町田市木曽町 651-1 市営 1-201 042-727-8949
板垣実	194-0032	東京都町田市本町田 2577 ホ -22-101 042-793-1271
横山和明	195-0062	東京都町田市大蔵町 2181-4 042-735-5662
大貫洋	194-0033	東京都町田市木曽町 1072-12 042-792-1564
佐藤忠夫	192-0364	東京都八王子市南大沢 2-12-3 0426-76-6246

